

10の要素と200語の定型表現を使うメリット

10の要素を使うメリット

- **1要素あたりで言わなければいけない語数を減らせる。**
(PREPやPHCSだと各要素100語も話さなきゃいけない)
- **10の要素があることによって伝わりやすい流れを作ることができる。**
(10の要素はオープン大会スピーカーのスピーチから逆算して作られている)
- **流れが決まっているので流れを短いプレパ時間で考えなくてよい。**
(内容を作ることだけに全集中することができる)
- **イントロさえ頭に浮かべばあとは芋づる式にほかの要素を引き出すことができる。**
(イントロの内容から伝えたいメッセージを抽出できたらそれをもとに論を組み立てていけばよい)

200語の定型表現を使うメリット

- **短いプレパ時間で考える語数を半分に減らせる。**
(200語をもうすでに覚えているので、論理上プレパ時間が2倍になったのと同じ)
- **即興で考えなければいけない文章を中学英語ぐらいの難易度の文章にしても稚拙に聞こえない。**
(覚えている定型表現が大学英語などのそこそこ難しい単語、文法で作ってあるから)
- **オーディエンスにすごいな！と思ってもらえる。**
(覚えている定型表現にレトリックやことわざなどが入っているため)
- **デリバリー、アイコンタクト、発音を適切に行うことができる。**
(覚えている表現は自信をもって言うことができる)
- **覚えている200語には文法的なミスがない。**
(即興で作る200語に文法的なミスがあってもその割合を半分にすることができる)
- **定型表現を言っている間に次に即興で言う文章を作ることができる。**
(定型表現を言っている間は頭を使わないので、次に言うことを考えることができる)